

1. 講義

- 川西徹, 「化学薬品の品質評価」, 星薬科大学薬学部 (2016.5)
- 川西徹, 「健康・医療戦略におけるレギュラトリーサイエンスの役割」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2016.7)
- 川西徹, 「先端的医薬品・医療機器・再生医療等製品開発に向けたレギュラトリーサイエンス研究」, 神戸大学大学院科学技術イノベーション科 (2016.7)
- 合田幸広, 「医薬品の品質保証とジェネリック医薬品」, 保健医療科学院地域保健臨床研修 (2016.10)
- 合田幸広, 「国立衛研薬品部の仕事と研究」, 昭和薬科大学 (2016.10)
- 合田幸広, 「国立衛研薬品部の仕事と研究」, 昭和薬科大学 (2016.11)
- 合田幸広, 「食薬区分と生薬」, 東京農工大学工学部生命工学科 (2016.12)
- 伊豆津健一, 「錠剤などの生物学的同等性」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2016.6)
- 阿曾幸男, 「医薬品の安定性」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2016.5)
- 坂本知昭, 「品質管理概論 (1)」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2016.5)
- 坂本知昭, 「品質管理概論 (2)」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2016.5)
- 香取典子, 「試験規格と工程管理の科学的背景」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2016.5)
- 小出達夫, 「理化学試験法概論」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2016.5)
- 香取典子, 「レギュラトリーサイエンスII・レギュラトリーサイエンスと科学的根拠」, 星薬科大学 (2016.6)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の開発と品質・安全性確保」, 高崎健康福祉大学薬学部 (2016.11)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の品質安全性確保」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2016.7)
- 日向昌司, 「抗体医薬品の薬効発現に影響する因子に関する研究」, 明治薬科大学薬学部健康薬学コース (2016.5)
- 袴塚高志, 「薬局方の生薬規格－日本薬局方の改正点を中心に－」, 平成28年度漢方薬・生薬研修会 (2016.4)
- 袴塚高志, 「生薬及び漢方製剤等の品質確保について」, 国立保健医療科学院薬事衛生管理研修 (2016.5)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「指定薬物の現状」, 平成28年度指定薬物分析研修会議 (2016.10)
- 田中理恵, 「指定薬物と危険ドラッグ製品の分析・同定について」, 平成28年度指定薬物分析研修会議 (2016.10)
- 緒方潤, 「植物系違法ドラッグ製品の基原植物のDN分析による識別法について」, 平成28年度指定薬物分析研修会議 (2016.10)
- 袴塚高志, 「漢方製剤の品質確保に資する標準化と製造管理」, 国立保健医療科学院院外研修プログラム (2016.11)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「法規制薬物及び麻薬原料植物」, 漢方薬・生薬研修会 (2016.11)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグ－他人事ではない身近な危険－」, 北海道医療大学薬物乱用防止に関するセミナー (2016.11)
- 佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療に用いられる細胞加工製品 (再生医療等製品) の品質確保」, 名古屋市立大学大学院薬学研究科創薬生命科学特別講義 I (2016.5)
- 佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療に用いられる細胞の「品質」とは」, 大阪大学大学院薬学系研究科レギュラトリーサイエンス連携講義 (2016.6)
- 佐藤陽治, 「再生医療等製品の造腫瘍性関連試験法」, 第22回GLP研修会 (大阪) (2016.9)
- 安田智, 「再生医療等製品の造腫瘍性関連試験法」, 第22回GLP研修会 (東京) (2016.9)

佐藤陽治, 「医薬品等レギュラトリーサイエンス概論」, 東京大学大学院薬学系研究科医薬品評価科学講座講義 (2016.9)

佐藤陽治, 「再生医療等製品の実用化のための課題と試験法開発」, 平成28年度国立保健医療科学院院外研修プログラム (2016.11)

佐藤陽治, 「再生医療に用いる細胞の安全性と品質の確保のためのレギュラトリーサイエンス」, 再生医療分野の産業化を目指した実用セミナー (2016.11)

澤田留美, 「再生医療等製品の開発の現状と間葉系幹細胞の品質及び安全性評価法の確立」, 九州大学先端物質化学研究所研究セミナー (2016.12)

Sato Y, "Japan's regulatory framework for expedited clinical application of cell-based therapeutic products", ISSCR Connect Webinar (2016.12)

佐藤陽治, 「ヒトES/iPS細胞加工製品の安全性と品質の評価」, 理化学研究所バイオリソースセンターヒトES細胞に関する教育研修 (2016.12)

佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療に使用する細胞加工製品(再生医療等製品)の品質・安全性評価」, 横浜市立大学大学院生命医科学研究科生命医科学専攻特別講義II『レギュラトリーサイエンス』(2016.12)

佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療における「細胞の品質」とは?」, 群馬大学大学院未来医療集中講義演習レギュラトリーサイエンスその1基礎開発研究 (2016.12)

佐藤陽治, 「再生医療等製品(細胞加工製品)の品質・非臨床安全性の評価」, 先端創薬科学講座セミナーコース2017 (2017.1)

佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療に用いられるヒト細胞加工物の造腫瘍性リスクの評価と管理」, JMAC 第96回ワーキンググループ会議 (2017.1)

内藤幹彦, 「プロテインノックダウン法の開発と創薬への応用」, 平成28年度慶応大学薬学部 バイオと医療・ゲノム医学 (2016.5)

内藤幹彦, 「標的医薬品の創製」, 平成28年度昭和薬科大学講義 (2016.6)

内田恵理子, 「遺伝子治療概論ー遺伝子治療用製品開発の現状と展望」, 横浜市立大学大学院特別講義(2016.11)

内田恵理子, 「ゲノム編集と遺伝子治療」, 横浜市立大学大学院特別講義 (2016.11)

配島由二, 「医療機器概論」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2016.7)

植松美幸, 「臓器工学特論」, 早稲田大学大学院先進理工学研究科 (2016.10)

小林憲弘, 「水道水質検査におけるMSの活用」, 公益社団法人日本水環境学会MS分析技術基礎講習会(2016.6)

内野正, 「職業講話ー輝きを求めてー」, 神奈川県立希望ヶ丘高等学校職業ワークショップ (2016.10)

五十嵐良明, 「生活環境化学物質の安全対策」, 横浜市立大学大学院 (2016.10)

小林憲弘, 「機器分析～理論(IC・原子吸光・ICP・ICP/MS)～」, 平成28年度水道技術者専門別研修会(水質管理部門) (2017.1)

小林憲弘, 「機器分析～理論(GC・GC/MS・HPLC・LC/MS)～」, 平成28年度水道技術者専門別研修会(水質管理部門) (2017.1)

渡邊敬浩, 「検査におけるサンプリングと分析そして品質保証」, 平成28年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2016.5)

穂山浩, 「食品安全分野のレギュラトリーサイエンス」, 東京農業大学大学院 (2016.5)

穂山浩, 「食品香粧機能学:食のレギュラトリーサイエンス」, 松山大学薬学部 (2016.5)

根本了, 「食品中に残留する農薬等の規制と公示試験法について」, 国立保健医療科学院平成28年度短期研修食肉衛生検査研修 (2016.6)

渡邊敬浩, 「国際対応に必要な分析の基礎知識」, 平成28年度食品安全行政の国際化研修 (2016.6)

渡邊敬浩, 「分析の目的と実行ーサンプリングー」, 平成

- 28年度食品安全行政の国際化研修 (2016.6)
- 渡邊敬浩, 「分析の目的と実行 - 分析法への要求と分析結果の品質保証 -」, 平成28年度食品安全行政の国際化研修 (2016.6)
- 穂山浩, 「食品安全分野のレギュラトリーサイエンス」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2016.7)
- 渡邊敬浩, 「サンプリングと分析」, 第1回残留農薬データ評価研修 (2016.8)
- 坂井隆敏, 「食品中残留動物用医薬品等試験法に関する話題」, 第34回全国食肉衛生検査所協議会理化学部会研修会 (2016.10)
- 穂山浩, 「先端研究成果からの事業化」, 三重大学大学院地域イノベーション学科 (2016.10)
- 穂山浩, 「食品部の紹介」, 昭和薬科大学生の早期体験学習としての研究機関見学 (2016.10)
- 渡邊敬浩, 「検査におけるサンプリングと分析そして品質保証」, 福岡県保健環境研究所第415回集談会(2016.11)
- 穂山浩, 「食品中アレルゲンのリスク評価」, 東京農工大学工学部 (2016.12)
- 根本了, 「食品中の残留農薬等公示試験法開発の最近の動向について」, (一社) 食品衛生登録検査機関協会平成28年度残留農薬等研修会 (2017.1)
- 坂井隆敏, 「食品中の残留動物用医薬品等に関する話題について」, (一社) 食品衛生登録検査機関協会平成28年度残留農薬等研修会 (2017.1)
- 穂山浩, 「食品分野のレギュラトリーサイエンス」, 東京大学農学部 (2017.1)
- 穂山浩, 「食物アレルゲンの検査法について」, 麻布大学生命・環境科学部 (2017.1)
- 渡邊敬浩, 「分析の目的に応じた品質保証のあり方」, (一社) 食品衛生登録検査機関協会平成28年度業務管理研修会・東京 (2017.2)
- 渡邊敬浩, 「分析の目的に応じた品質保証のあり方」, (一社) 食品衛生登録検査機関協会平成28年度業務管理研修会・大阪 (2017.2)
- 佐藤恭子, 「添加物の規格I」, 一般財団法人日本食品添加物協会 平成28年度食品衛生管理者登録講習会(2016.8)
- 佐藤恭子, 「食品添加物の開発と規制」, 東京農工大学大学院工学府講義 (2016.10)
- 佐藤恭子, 「食品添加物」, 千葉大学薬学部講義 (2017.1)
- 佐藤恭子, 「食品添加物のリスク評価とリスク管理」, 千葉大学大学院講義 (2017.2)
- 多田敦子, 「添加物の規格II」, (一財) 日本食品添加物協会 平成28年度食品衛生管理者登録講習会 (2016.8)
- 久保田浩樹, 「分析法概論I」, (一財) 日本食品添加物協会 平成28年度食品衛生管理者登録講習会 (2016.8)
- 建部千絵, 「分析法概論II」, (一財) 日本食品添加物協会 平成28年度食品衛生管理者登録講習会 (2016.8)
- 杉本直樹, 「天然有機化合物の機器分析法に関する研究」, 明治薬科大学 (2016.5)
- 杉本直樹, 「食品添加物と分析化学の関係」, 麻布大学 (2016.7)
- 杉本直樹, 「qNMRの可能性と限界, その応用について」, (一財) 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団大阪事業所研究会 (2016.7)
- 杉本直樹, 「添加物の規格III」, (一財) 日本食品添加物協会 平成28年度食品衛生管理者登録講習会 (2016.8)
- 六鹿元雄, 「添加物の規格IV」, (一財) 日本食品添加物協会 平成28年度食品衛生管理者登録講習会 (2016.8)
- 六鹿元雄, 「食品用器具・容器包装における法規制」, 東京農工大学 (2016.10)
- 六鹿元雄, 「食品用器具・容器包装の材質とその特性」, 実践女子大学 (2017.1)
- 朝倉宏, 「食品衛生」, 国立感染症研究所平成28年度実地

- 疫学専門家養成コース初期導入研修 (2016.4)
- 朝倉宏, 「カンピロバクター食中毒の発生状況と想定される汚染低減手法について」, 国立保健医療科学院平成28年度食肉衛生検査研修 (2016.6)
- 朝倉宏, 「ジビエ関連施設における衛生管理実態と今後の課題について」, 国立保健医療科学院平成28年度食肉衛生検査研修 (2016.6)
- 朝倉宏, 「カンピロバクター・マリントキシンによる食中毒とノロウイルスの消毒効果について」, 国立保健医療科学院平成28年度院外研修プログラム (2016.11)
- 朝倉宏, 「レギュラトリーサイエンス: 食品有害微生物の危害管理」, 東京農工大学 (2016.11)
- 朝倉宏, 「獣医学実践実習: Molecular Epidemiology of Foodborne Bacterial Infection」, 岐阜大学大学院 (2016.12)
- 朝倉宏, 「カンピロバクター食中毒の疫学実態と想定される汚染低減手法について」, 国立保健医療科学院平成28年度食品衛生危機管理研修 (2017.1)
- 大城直雅, 「マリントキシンによる食中毒」, 明治薬科大学 (2016.4)
- 大城直雅, 「食中毒化学」, 麻布大学 (2016.10)
- 大城直雅, 「マリンバイオトキシン」, 国立保健医療科学院平成28年度食品衛生危機管理研修 (2017.2)
- 岡田由美子, 「微生物試験法の国際整合性」, 国立保健医療科学院平成28年度食肉衛生検査研修 (2016.7)
- 岡田由美子, 「リステリア・モノサイトゲネスの微生物基準策定と試験法」, 国立保健医療科学院平成28年度食品衛生危機管理研修 (2017.2)
- 野田衛, 「食品からのウイルス検査法の開発, 標準化に関する研究」, 明治薬科大学 (2016.4)
- 上間匡, 「ノロウイルスは制御できるのか?」, 東京大学獣医学専攻大学院獣医学特論 (2016.7)
- 寺嶋淳, 「食中毒原因病原体に関する最近のトピックスについて」, 麻布大学特別講義 (2016.7)
- 寺嶋淳, 「食中毒菌の遺伝学的解析とその食中毒調査への応用」, 山梨大学 (2016.5)
- 寺嶋淳, 「腸管出血性大腸菌感染症」, 岐阜大学大学院獣医学特別実験Ⅲ実践実習 (2016.12)
- 寺嶋淳, 「腸管出血性大腸菌の解析とその食中毒調査への活用」, 国立保健医療科学院平成28年度食品衛生危機管理研修 (2017.1)
- 菊池裕, 「原因不明食中毒と医薬品の微生物学的安全性確保について」, 明治薬科大学薬学部 (2016.4)
- 菊池裕, 「レギュラトリーサイエンス講座 薬食衛生微生物分野講義」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2016.6)
- 工藤由起子, 「腸管出血大腸菌についての国内外の話題」, 神奈川県衛生研究所第一回病原細菌遺伝学的解析法研修 (2016.8)
- 渡辺麻衣子, 「食品・環境に分布する真菌とその検査」, 岩手大学農学部獣医学科食品衛生学実習 (2016.8)
- 渡辺麻衣子, 「食品真菌の検査 - 異物としての真菌とその同定 -」, 国立保健医療科学院平成28年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2017.2)
- 渡辺麻衣子, 「カビについて」, 平成28年度第1回サイエンスカフェ (さいたま市保健福祉局) (2016.4)
- 大西貴弘, 「寄生虫による新しい食中毒」, 岐阜大学・獣医学特別実験Ⅲ 実績実習 (2016.12)
- 大西貴弘, 「魚肉における原因不明食中毒の究明と対策」, 平成29年度食品衛生危機管理研修会 (2017.2)
- 大西貴弘, 「*Unicapsula seriola*検査法」, 山梨県衛生環境研究所 (2016.4)
- 大西貴弘, 「粘液胞子虫検査に関する技術研修」, 岡山県備前保健所 (2016.5)
- 大西貴弘, 「*Unicapsula seriola*検査に関する技術研修」, 千葉県衛生研究所 (2016.9)

- 大西貴弘, 「厚生労働省通知*Kudoa septempunctata*の検査法実習」, (公社) 日本食品衛生協会・食品衛生研究所 (2017.2)
- 近藤一成, 「きのこによる食中毒」, 国立保健医療科学院平成28年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2017.1)
- 近藤一成, 「次世代遺伝子組換え技術」, 国立保健医療科学院平成28年度短期研修食品衛生危機管理研修(2017.1)
- 近藤一成, 「遺伝子組換え食品分析能力向上」, JICA 国別研修モンゴル (2017.3)
- 蜂須賀暁子, 「放射線を正しく怖がるには?放射線の基礎とトピックス」, 平成28年度横浜市立大学生命科学研究科特別講義II (2016.11)
- 安達玲子, 「基礎から学ぶ特定原材料表示～導入の背景から新しい表示法における取扱いまで～」, 日本食品衛生協会食品衛生研究所 食物アレルギー検査実習 (2016.7)
- 青木良子, 「医薬品の安全使用のために, 海外の副作用情報を活用する」, 東北大学薬学部感染症学講義(2016.11)
- 畝山智香子, 「リスク分析と様々なリスク」, 千葉大学園芸学部 (2016.4)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価」, 東京農業大学 (2016.4)
- 畝山智香子, 「食の安全と薬学」, 東北大学薬学部(2016.6)
- 畝山智香子, 「リスクアナリシスによる食品の安全性確保」, 第43・44期食品保健指導士養成講習会 (2016.10,2017.2)
- 畝山智香子, 「ほんとうの『食の安全』を考える」, えひめサイエンスリーダースキルアッププログラム(2016.11)
- 畝山智香子, 「ほんとうの『食の安全』を考える」, 宮城大学食産業学部 (2016.12)
- 畝山智香子, 「ほんとうの『食の安全』を考える」, 愛媛大学教育学部 (2016.12)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価」, 国立保健医療科学院平成28年度 短期研修 食品衛生危機管理研修 (2017.2)
- 窪田邦宏, 「安全情報部」, 厚生労働省 医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部 獣医系職員研修 (2016.4)
- 窪田邦宏, 「安全情報部」, 国立保健医療科学院平成28年度地域保健臨床研修 院外研修プログラム (2016.11)
- 窪田邦宏, 「食品安全情報と食品媒介感染症被害実態の推定」, 国立保健医療科学院平成28年度食品衛生危機管理研修 (2017.1)
- 登田美桜, 「食品汚染物質の基礎知識」, 医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部 食品安全行政の国際化研修 (2016.7)
- 齋藤嘉朗, 「ゲノム薬理学による医薬品の有効性・安全性予測」, 福島医科大学 (2016.7)
- 中村亮介, 「医薬品の重篤副作用と発症関連バイオマーカー」, 東北大学 (2016.7)
- 齋藤嘉朗, 「ゲノム薬理学の最前線」, 北里大学大学院 (2016.12)
- 中村亮介, 「医薬品開発と重篤副作用～皮膚毒性を中心に～」, 東北大学 (2016.12)
- 中村亮介, 「医薬品開発における肝毒性評価」, 東北大学 (2017.1)
- 中村亮介, 「医薬品の製造販売後の安全性確保に関する行政施策と医療情報データベースを用いた研究」, 東北大学 (2017.1)
- 北嶋聡, 「最先端毒性研究の紹介」, 東京大学農学部獣医学科「毒性学実習」特別講義 (2016.5)
- 高橋祐次, 「S11:幼若動物を用いた非臨床安全性試験」, 第34回ICH即時報告会 (2016.7)
- 高橋祐次, 「S11:小児用医薬品開発のための非臨床試験」, 第35回ICH即時報告会 (2016.12)
- 諫田泰成, 「癌幹細胞の新たな増殖制御メカニズムと創薬応用」, 徳島大学薬学部講義 (2016.12)

佐藤薫, 「薬はどのように創られるか」, 群馬大学医学部
応用基礎医学講義 (2016.9)

山崎大樹, 「医薬品の新規安全性薬理評価系の開発 –
ヒトiPS細胞由来分化心筋細胞を用いて–」, 福島県立医
科大学薬理学講義 (2016.6)

杉山圭一, 「栄養保健」, 東京医科歯科大学 (2016.6)

広瀬明彦, 「化学物質リスク評価学」, 北里大学獣医学部
(2016.5)

広瀬明彦, 「化学物質の定量的リスク評価手法<レギュ
ラトリーサイエンス講座>」, 大阪大学大学院薬学研究
科 (2016.7)

広瀬明彦, 「微量曝露化学物質のリスク評価手法とその
実例」, 東京理科大学薬学部 (2017.1)

2. 講演

川西徹, 「局方改正: 今後の課題について」, 東薬工/大
薬協局方研修講演会 (2016.4)

川西徹, 「国立医薬品食品衛生研究所の向かうところ」,
地方衛生研究所全国協議会近畿支部理化学部会研修会
(2016.11)

川西徹, 「食とくらしの安全にむけた試験研究 -国立医
薬品食品衛生研究所の役割-」, 日本食品工業倶楽部講演
会 (2016.11)

川西徹, 「国立医薬品食品衛生研究所の川崎移転とこれ
から」, 大阪府公衆衛生研究所講演会 (2016.9)

川西徹, 「国立医薬品食品衛生研究所の移転とこれから」,
キングスカイフロント交流会 (2016.12)

合田幸広, 「健康食品の新しい機能性表示と品質に関す
る課題」, 健康機能表示食品開発検討会 (2016.6)

合田幸広, 「生薬の標準化とNMRの利用」, 理化学研究
所NMR天然物関連シンポジウム (2016.7)

合田幸広, 「機能性表示食品の品質に関する課題」, 農水
省食品安全に係る科学セミナー (2016.9)

合田幸広, 「機能性表示食品制度, 進化への課題」, 緊迫

討論機能性表示食品全員集合祭 (2016.9)

合田幸広, 「日局17における生薬関係の改正内容につい
て」, 第16回日本薬局方に関する研修会 (2016.10)

Goda Y, "Implementation of qNMR in the Japanese
Pharmacopoeia (JP)", qNMR Summit 2016, US
Pharmacopoeial Convention, Rockville MD, (2016. 10)

合田幸広, 「医薬品の品質保証と生薬及び漢方製剤にお
ける課題」, 漢方将来ビジョン研究会Ⅲ (2016.11)

合田幸広, 「日本薬局方における定量NMRと今後の展
望」, 和光presents定量NMRセミナー「医薬品・食品・
化学品の新しい定量法とその展望」(2016.11)

合田幸広, 「日本薬局方における定量NMRと今後の展望
及び有害試薬排除に関するお願い」, 東京医薬品工業協
会局方委員会講演 (2017.1)

合田幸広, 「日本薬局方における定量NMRと今後の展望
及び有害試薬排除に関するお願い」, 大阪医薬品協会技
術委員会講演会 (2017.1)

合田幸広, 「機能性表示食品に望まれる品質」, 健康食品
認証制度協議会セミナー (2017.3)

伊豆津健一, 「製剤処方等の変更と生物学的同等性試験
の動き」, 第19回 医薬品品質フォーラム (2017.2)

吉田寛幸, 「吸入剤の規格試験法と生物学的同等性試験
の現状」, 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財
団 大阪事業所職員研修会 (2016.8)

坂本知昭, 「リスクに基づいた品質管理のあり方とGMP
-QC運用におけるリスクの考え方とリスクに基づく品
質試験の実施-」, 平成28年度医薬品・化粧品等品質管
理研修会 (2016.10)

香取典子, 「バイオマーカー測定における分析法バリ
デーションの必要性」, 第20回 薬物動態談話会セミナー
(2016.8)

香取典子, 「局方の試験規格とRTRT-含量均一性試験の
場合」, 大阪医薬品協会 技術研究委員会 (2017.1)

坂本知昭, 「先端的分析評価法を用いた製剤開発及び製

- 造工程管理に関する研究」, 平成28年度日本医療研究開発機構研究費創薬基盤推進研究事業研究成果発表会 (2017.2)
- 坂本知昭, 「規格および試験法の合理化 (1)」, 第19回医薬品品質フォーラム (2017.2)
- 加藤くみ子, 「リポソーム製剤等の製法変更—Comparability評価の考え方—」, 第18回医薬品品質フォーラムシンポジウム (2017.2)
- 加藤くみ子, 「核酸医薬の送達技術に関連したガイドライン等の概要」, 日本核酸医薬学会第2回年会 (2016.11)
- 加藤くみ子, 「ブロック共重合体ミセル医薬品の特性と評価」, 第6回DDS製剤臨床応用FG合宿討論会 (2016.10)
- 加藤くみ子, 「ナノテクノロジーを応用した先端的DDS製剤のレギュラトリーサイエンス」, 日本化学会 コロイドおよび界面化学部会 コロイド先端技術講座 (2016.10)
- Sakai-Kato K, “Japanese Regulatory Science and Standards Perspective on Nanotechnology”, Global Summit on Regulatory Science (GSRS16) (2016.9)
- Sakai-Kato K, “The Japanese liposome guideline and related regulatory science activities”, Global Summit on Regulatory Science (GSRS16) (2016.9)
- 加藤くみ子, 「リポソーム製剤ガイドライン案の作成」, 第32回日本DDS学会学術集会 (2016.7)
- Sakai-Kato K, “Regulatory science research on nanomedicines in Japan”, The European Summit for clinical nanomedicines (2016.6)
- 石井明子, 「M10生体試料中薬物濃度分析法」, ICH日本シンポジウム2016 (第35回ICH即時報告会) (2016.12)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の品質に関する今後の展望～Qカルテット その次へ～」, レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会, 専門コース 医薬品の研究開発・製造・品質分野で働く人のためのエッセンシャル研修会 (2016.12)
- 石井明子, 「バイオシミラー開発における同等性/同質性評価の課題」, 東薬工セミナー「バイオシミラーの現状～動向と課題～ (2017.2)
- Masada S, “Authentication of the botanical origin of western herbal products: as the examples on Cimicifuga and Vitex products”, 9th CSP-KSP-JSP Joint Symposium on Pharmacognosy (2016.5)
- Kikura-Hanajiri R, “Practical ways of prioritizing the most prevalent, persistent and harmful new psychoactive substances at the national level”, 3rd WHO - UNODC Expert Consultation on New Psychoactive Substances (2016.5)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグ流通実態の変化」, 日本学術会議トキシコロジー分科会シンポジウム“危険ドラッグの正体, 現状と今後” (2016.5)
- 袴塚高志, 「第17改正日本薬局方のポイント」, 第7回タケダガーデンシンポジウム (2016.6)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグの流通実態の変化」, 平成28年度全国地方衛生研究所長会議 (2016.6)
- Kikura-Hanajiri R, “Toxicology-related data collection”, UNODC Expert Consultation on Forensic Toxicology and Drug Control (2016.6)
- Hakamatsuka T, “Case Report on Quality Control of Herbal Reference Materials in Japan”, Sub-committee II Meeting of Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) (2016.7)
- Hakamatsuka T, “Species Adulteration and Authentication in Japan -Authentication of the Botanical Origin of Cimicifuga Products in Japanese Market-”, Sub-committee II Meeting of Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) (2016.7)
- Hakamatsuka T, “Pre and Post-marketing Safety Evaluation of Herbal Medicines in Japan”, Sub-committee III Meeting of Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) (2016.9)
- 袴塚高志, 「日本薬局方における生薬・漢方製剤の標

- 準化], レギュラトリーサイエンス学会第6回学術大会 (2016.9)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグの分析体制と指定薬物の指定状況」, 全国税関分析担当者による意見交換会 (2016.9)
- Kikura-Hanajiri R, “Trends of Analysis of Novel Psychoactive Substances (NPS) -Synthetic Cannabinoids-”, 12th INPALMS Congress 2016 (2016.9)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグの流通はどう変わったか」, 第51回日本アルコール・アディクション医学会学術総会シンポジウム“ポスト「危険ドラッグ」—薬物乱用状況はどう変わったか—” (2016.10)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグの流行はどう変わったか」, 第53回全国薬事指導協議会総会特別講演(2016.10)
- Hakamatsuka T, “Systems for Quality Assurance of Kampo Medicine in Japan”, The 5th International Conference on the Modernization of Traditional Chinese Medicine (2016.10)
- 袴塚高志, 「生薬・漢方製剤に関する最近の話題」, 第45回生薬分析シンポジウム (2016.11)
- Hakamatsuka T, “Topics in the Revision of Japanese Pharmacopoeia 17th Edition”, 14th Standing Committee Meeting of Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) (2016.12)
- 袴塚高志, 「局方生薬に関する最近の話題と食薬区分について」, 第32回生薬に関する懇談会 (2016.12)
- 袴塚高志, 「食薬区分リストの意義とその見直しについて」, 「健康・機能的食品の基原植物事典」出版記念講演会 (2016.12)
- 袴塚高志, 「天然物医薬品の品質確保に資する公定規格と承認基準・ガイドラインについて」, 第36回家庭薬開発研究シンポジウム (2017.2)
- 佐藤陽治, 「再生医療等製品(細胞加工物)の品質とその確保のための規制」, 神戸医療産業都市クラスター交流会 (2016.4)
- 佐藤陽治, 「再生医療用細胞加工物の品質・安全性確保のための科学的課題」, AMED再生医療プログラム関連携のための情報交換会 (2016.5)
- 佐藤陽治, 「再生医療の安全性評価のための科学—新しい医療製品のリスクの発生源をどう測るか—」, 「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」市民シンポジウム再生医療・遺伝子治療の未来へ—リスクとベネフィットを考える— (2016.7 (大阪), 2016.12 (東京))
- 佐藤陽治, 「ヒト細胞加工製品の造腫瘍性試験及び造腫瘍性細胞検出試験—関連ガイドラインの作成状況—」, 第43回日本毒性学会学術年会 (2016.7)
- Sato Y, “Update on Japan’s regulation of cell-based therapeutic products”, Stem Cell & Regenerative Medicine Global Congress 2016 (2016.8)
- Sato Y, “Scientific challenges for the safety, efficacy and quality of cell-based therapeutic products”, Tissue Engineering and Regenerative Medicine International Society-Asia Pacific Meeting 2016 (2016.9)
- 佐藤陽治, 「遺伝子治療の安全性評価—ゲノム編集技術の応用における留意点—」, 第68回日本生物工学会大会 (2016.9)
- 佐藤陽治, 「再生医療等製品(細胞加工製品)の品質・安全性と規制」, 第26回日本医療薬学会年会 (2016.9)
- 佐藤陽治, 「再生・細胞医療製品の品質と安全性の評価について」, 創薬薬理フォーラム第24回シンポジウム (2016.9)
- Sato Y, “Current regulatory issues on tumorigenicity assessment of human pluripotent stem cell-derived products in Japan”, ISCI workshop: origins & implications of pluripotent stem cell (epi) genetic instability and a symposium: to honor the work of Leroy Stevens (2016.10)
- 佐藤陽治, 「再生・細胞医療の実用化におけるレギュラトリーサイエンスの役割」, 「かながわ再生・細胞治療産業化ネットワーク」キックオフフォーラム (2016.10)
- Sato Y, “Recent developments in regulation for cell therapy in Japan”, 3rd International Alliance for

Biological Standardization Conference on Cell Therapy: Manufacturing & Testing (2016.11)

Sato Y, "Japanese guidance documents on the quality and risk assessment of raw materials for cell-based therapeutic products", 3rd International Alliance for Biological Standardization Conference on Cell Therapy: Manufacturing & Testing (2016.11)

佐藤陽治, 「細胞加工物とその原料の品質について」, 細胞治療・再生医療実用化に向けての最前線2016 (2016.11)

佐藤陽治, 「iPS細胞などに由来する細胞加工製品の造腫瘍性評価の課題」, 日本環境変異原学会第45回大会 (2016.11)

Sato Y, "Challenges for the tumorigenicity assessment of cell-based therapeutic products", 1st DIA Cell Therapy Products Symposium in Japan - Industry, Academia, and Government Challenges in Practical Use (2016.12)

遊佐敬介, 「次世代シークエンサーによるウイルス安全性評価法について」, 第17回医薬品等ウイルス安全性シンポジウム (2017.1)

佐藤陽治, 「ガイドラインオーバービューーヒト細胞加工製品関連の規制について」, バイオロジクスフォーラム第14回学術集会 (2017.1)

佐藤陽治, 「再生医療等製品(細胞加工製品)の実用化の背景にある現実と課題」, 医療産業イノベーションフォーラム (2017.1)

内田恵理子, 「遺伝子治療について」, 大阪大学第二特定認定再生医療等委員会教育研修セミナー (2016.5)

内田恵理子, 「遺伝子治療用製品の開発における国内と海外の規制動向ー5年間の進展ー」, ヒューマンサイエンス振興財団規制動向調査班勉強会 (2016.6)

内田恵理子, 「遺伝子治療等臨床研究に関する指針について」, 第2回JSGCT遺伝子治療臨床試験トレーニングコース (2016.7)

吉田徳幸, 「核酸医薬における基礎と開発の現状」, R&D支援センター主催セミナー (2016.9)

吉田徳幸, 「修飾型人工核酸の肝毒性評価」, 革新的バイオ研究開発シンポジウム (2017.1)

吉田徳幸, 「開発中止品目の整理と考察-毒性発現の観点から-」, 第7回核酸医薬レギュラトリーサイエンスシンポジウム (2017.3)

藪島由二, 「次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業: 活動機能回復装置に関する評価指標」, 第6回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2016.9)

植松美幸, 「体幹骨格の特徴点をレジストレーションに用いた手術ナビゲーションシステムの開発～人工血管置換術100症例の経験に基づく効果的な使用方法について～」, 第6回次世代医療システム産業化フォーラム2016 (2016.11)

植松美幸, 「手術ロボット・ナビゲーションシステムに関する評価指標の解説」, 医療機器ガイドライン活用セミナー #12 手術ロボットガイドライン解説 (東京) (2016.12)

中岡竜介, 「医療機器に関連した国際標準化状況について: ISO/TC 150 (外科用インプラント) /SC 7 (再生医療機器) を中心に」, 日本ファインセラミックス協会テクノフェスタ平成29年標準化講演会 (2017.1)

中岡竜介, 「国際幹事経験談及び医療機器分野国際標準化の現状について」, 平成28年度第2回ISO国際標準化研修-上級編 (2017.1)

植松美幸, 「体幹骨格の特徴点をレジストレーションに用いた手術ナビゲーションシステムの開発と評価 ～人工血管置換術100症例の経験から得たこと～」, 日本生体医工学会第13回RS研究会 (2017.2)

植松美幸, 「手術ロボット・ナビゲーションシステムに関する評価指標の解説」, 医療機器ガイドライン活用セミナー #14 手術ロボットガイドライン解説 (大阪) (2017.2)

小林憲弘, 「水質規制の最新動向と検査法のポイント」, 水質分析セミナー2016 (2016.5)

小林憲弘, 「水道水検査の最新情報と今後の動向」, 水道水質・環境分析セミナー2016 (2016.6)

- 小林憲弘, 「水道水質検査の最新情報」, 大阪府水道水質検査外部精度管理結果報告会 (2016.7)
- 小林憲弘, 「ナノ材料のリスク評価の国際動向」, 第23回日本免疫毒性学会学術年会市民公開講座 (2016.9)
- 小林憲弘, 「水道水質検査の最新情報 - 妥当性評価ガイドラインの改訂方針と新規検査法の開発状況 -」, 平成28年度飲料水検査技術研修会 (2016.9)
- 小林憲弘, 「微量有機化学物質によるヒト健康リスクの定量化に関する研究」, 環境科学会2016年会 (2016.9)
- 小林憲弘, 「水道水質検査の最新情報 - 新規検査法の開発と妥当性評価ガイドラインの改訂について -」, 平成28年度兵庫県立健康生活科学研究所・研究アドバイザーによる講演会 (2016.9)
- 酒井信夫, 「シックハウス (室内空気汚染) 問題に関する検討会の最新動向」, 第53回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2016.11)
- 小林憲弘, 「水道水質検査方法の改正に関する最新情報」, 第53回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2016.11)
- 田原麻衣子, 「qNMRによる環境分析の信頼性確保のための純度評価」, 定量NMRセミナー 医薬品, 食品, 化学品の新しい定量法とその展望 (2016.11)
- 小林憲弘, 「平成29年度水道水質検査精度管理のための統一試料調査について」, 水道水質検査精度管理に関する研修会 (2017.2)
- 小林憲弘, 「水道水質検査に関する最新の話題」, 平成28年度 飲料水検査精度管理調査に関する研修会 (2017.3)
- 五十嵐良明, 「化粧品の薬機法上の位置づけと役割」, 日本薬学会第137年会シンポジウム (2017.3)
- Akiyama H, "Japanese risk management for food additives", 2016 Food Fraud Symposium (2016.9)
- 穂山浩, 「機能性食品の安全性評価と機能性関与成分の考え方」, 健康食品・保健機能食品の根拠ある期限設定と加速試験の進め方セミナー (2016.10)
- 穂山浩, 「食品中の残留農薬等の安全性確保について」, 衛研シンポジウム (2016.7)
- 佐藤恭子, 「香料の摂取量に関する評価方法の確立に関する研究」, 食品安全委員会 平成28年度食品健康影響評価技術研究成果発表会 (2016.10)
- 佐藤恭子, 「食品添加物と国際調和」, 日本食品化学学会第32回食品化学シンポジウム (2016.10)
- 佐藤恭子, 「食品添加物の規格試験法の向上及び摂取量推定等に関する研究」, (公社) 日本食品衛生学会 平成28年度厚生労働科学研究 (食品の安全確保推進研究) シンポジウム (2017.2)
- 佐藤恭子, 「食品添加物の基礎知識」, 茨城県土浦保健所平成28年度 食の安全・安心意見交換会 (2017.2)
- 杉本直樹, 「定量 NMR/LC を用いた天然有機化合物の定量分析法の開発」, 日本生薬学会第63回年会 (シンポジウムI「定量NMRから見えてくる世界」) (2016.9)
- 杉本直樹, 「定量 NMRのJISへの導入」, 定量NMRクラブ第5回会合 (2016.12)
- 西崎雄三, 「qNMRとHPLCを併用した天然添加物の新規評価手法の確立」, 医薬品・食品・化学品の新しい定量法とその展望 Wako presents定量NMRセミナー (2016.11)
- 六鹿元雄, 「厚労科研「自主管理ガイドライン案の作成」について」, プラスチック衛生連絡会 定時総会 (2016.6)
- 六鹿元雄, 「器具・容器包装の試験法に関する注意点」, 公益社団法人日本食品衛生協会 器具・容器包装研修会 (2016.12)
- 朝倉宏, 「カンピロバクターに係る家禽, 家畜の最新の話題について」, 新潟県平成28年度食肉衛生検査職員研修会 (2016.6)
- 朝倉宏, 「ジビエの衛生管理について」, 千葉県平成28年度食品衛生等関係職員研修発表会 (2016.6)
- 朝倉宏, 「食肉, 食鳥肉における細菌汚染実態と衛生管理対策等について~カンピロバクターを中心に~」, 青森県平成28年度食肉衛生技術研修会 (2016.10)

- 朝倉宏, 「食肉, 食鳥肉等におけるカンピロバクター汚染のリスク管理について」, 平成28年度日本獣医師会獣医公衆衛生講習会 (関東地区) (2016.11)
- 朝倉宏, 「食鳥肉のカンピロバクター汚染のリスク管理及び野生鳥獣肉の衛生管理について」, 千葉県平成28年度食肉衛生技術研修会 (2016.11)
- Asakura H, “Risk management strategies for cold chain”, Korean Society of Food Hygiene and Safety 2016 annual meeting (2016.10)
- 大城直雅, 「魚類による食中毒『シガテラ』」, 平成28年度国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム『食とくらしの安全』について (2016.7)
- 大城直雅, 「自然毒食中毒-シガテラを中心に-」, 第57回近畿食品衛生監視員研修会特別講演 (2016.8)
- 大城直雅, 「世界最大規模の魚類食中毒『シガテラ』」, 明治薬科大学平成28年度市民大学講座「自然と健康を考える」 (2016.9)
- Oshiro N, “Risk Management for TTX, CTXs, and other marine biotoxins in Japan”, First Workshop on Emerging Toxins (2016.9)
- 大城直雅, 「下痢性貝毒の規制と検査」, 平成28年度一般社団法人食品衛生登録検査機関協会 マイコトキシン研修会」, (2016.9)
- 大城直雅, 「マリントキシンによる食中毒の最新の知見」, 東京都平成28年度第3回食品技術講習会 (2016.11)
- 大城直雅, 「マリントキシンによる食中毒の最新の知見」, 平成28年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会研究発表会特別講演 (2016.11)
- 大城直雅, 「海産生物毒による食中毒」, 比嘉辰雄先生メモリアルシンポジウム (2016.12)
- 大城直雅, 「海産生物毒による食中毒」, 東芝病院研究部セミナー (2016.12)
- 大城直雅, 「魚類による食中毒シガテラ」, 平成28年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会 獣医公衆衛生学会-市民公開講座『気をつけよう! 動物や植物が持つ毒による食中毒』 (2017.2)
- 大城直雅, 「コモンフグの毒性評価」, 第33回マリントキシン研究会 (2017.3)
- 野田衛, 「ノロウイルスとその消毒」, 感染症予防衛生隊研修会 (2016.10)
- 野田衛, 「冬の二大感染症 インフルエンザ, ノロウイルスから身を守ろう」, 平成28年度明治薬科大学市民大学講座 (2016.12)
- 野田衛, 「ノロウイルス対策について」, 平成28年度第二回「食の安全都民講座」 (2016.11)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒・感染症対策について」, ノロウイルス講演会 (2016.11)
- 野田衛, 「冬こそ注意! 食中毒~ノロウイルス対策最前線~」, 平成28年度品川区講演会 (2016.11)
- 野田衛, 「ノロウイルス対策について」, 郡山市平成28年度ノロウイルス対策講習会 (2016.11)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒の予防のための対策」, 沖縄県「ノロウイルス食中毒の予防と対策」講習会 (2016.11)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒予防のための対策」, フードセーフティジャパン・フードファクトリー2016セミナー (2016.9)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒・感染症の制御及び調査に関する話題」, 東北食中毒研究会第29回全体会議及び研修会 (2016.9)
- 野田衛, 「学校給食施設におけるノロウイルス対応について」, 第28回秋田県学校給食調理員研修会 (2016.7)
- 野田衛, 「ノロウイルス感染症・食中毒の現状と対策」, 第20回関西感染症フォーラム (2016.8)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒・感染症対策について」, 愛知県平成28年度栄養教諭・学校栄養職員管理等研修会 (2016.7)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒・感染症の現状と対策」,

第25回山形県食品衛生推進大会食の安全フォーラム (2016.7)

野田衛, 「ノロウイルス食中毒の現状と対策」, 第57回公益社団法人日本食品衛生協会中・四国ブロック大会 (2016.7)

野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒・感染症対策について」, 平成28年度岩手県食の安全安心リスクコミュニケーション第2回「ノロウイルスによる食中毒・感染症対策を考えるシンポジウム」 (2016.10)

上間匡, 「ノロウイルスの不活化条件等について」, さいたま市食品衛生監視員等の専門技術研修会 (2016.10)

菊池裕, 「iPS 細胞等由来樹状細胞を用いたエンドトキシン等発熱性物質検出法の開発-オゾン過酸化水素混合ガス滅菌法とエンドトキシン等発熱性物質不活化に関する研究-」, 平成28年度日本医療研究開発機構研究費創業基盤推進研究事業研究成果発表会 (2017.2)

工藤由起子, 「腸管出血性大腸菌およびその検査法について」, 第58回食品微生物技術懇話会 (2016.6)

大西貴弘, 「鮮魚介類が原因と疑われた食中毒様事例における寄生虫検索の動向」, 山梨県職員等薬剤師会学術研修会 (2017.1)

大西貴弘, 「クドア食中毒に対する行政上の取り組みと *Unicapsula seriolae* の関与を疑う有症事例」, 衛生微生物技術協議会第37回研究会 (2016.7)

大西貴弘, 「魚の生食に関連する有症苦情事例」, 兵庫県食品衛生監視員研修会 (2016.6)

蜂須賀暁子, 「放射性医薬品基準解説書刊行によせて」, 日本放射性医薬品協会講演会 (2017.1)

畝山智香子, 「トランス脂肪酸及びアクリルアミドの現状について」, 平成28年度厚生労働省食品安全行政講習会 (2016.5)

畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 群馬県食品工業協会年次総会 (2016.7)

畝山智香子, 「「ほんとうの『食の安全』を考える」～食品中に含まれる様々な発がん物質のリスクについて～」,

「食と放射能に関する説明会」 (2016.7・8・9)

畝山智香子, 「ほんとうの“食の安全“ を考える」, 家庭科教職員 (食育担当) 対象セミナー『食育を科学的に考える』 (2016.7)

畝山智香子, 「「ほんとうの『食の安全』を考える」～食品中に含まれる様々な発がん物質のリスクについて～」, 東北エネルギー懇談会技術小委員会 (2016.8)

畝山智香子, 「赤肉と食肉加工品の発がん性」, 食肉学術フォーラム (2016.8)

畝山智香子, 「国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部の食品安全情報の利用のススメ」, 食品安全委員会報道関係者との意見交換会 (2016.10)

畝山智香子, 「食品安全リスク分析からみた健康食品」, 埼玉県リスクコミュニケーション研修会 (2016.10)

畝山智香子, 「健康食品について」, フードアナリスト協会特別研究会 (2017.1)

畝山智香子, 「安全な食品って何だろう」, 仙台市 食品の安全性に関する講演会 (2017.1)

畝山智香子, 「安全な食べものって何だろうー食品のリスクを考える」, 放射線照射利用促進協議会 (JAPI) 平成28年度第二回講演会 (2017.1)

畝山智香子, 「食品安全リスク分析からみた健康食品」, あすか倶楽部第190回 定例会 (2017.3)

畝山智香子, 「安全な食品ってなんだろう?～リスクのものさしで考える～」, 4府省庁合同食品に関するリスクコミュニケーション「食品の安全を守る取組～農場から食卓まで～」 (2017.3)

窪田邦宏, 「シンポジウム:食中毒をめぐる最近の話題, 我が国の食中毒被害実態の推定」, 平成28年度日本獣医師会 獣医学術学会年次大会 (2017.2)

登田美桜, 「有毒植物による食中毒について」, 平成28年度国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム (2016.7)

登田美桜, 「有毒植物による食中毒の最近の傾向について」, 平成28年度地方衛生研究所東海北陸ブロック専門

- 家会議 (2016.9)
- 登田美桜, 「有毒植物による食中毒の最近の傾向について」, 平成28年度茨城県衛生研究所調査研究業績発表会 (2017.3)
- 佐井君江, 齋藤嘉朗, “Scientific insights about ethnic factors”, PMDA-Asia Training Center Multi-Regional Clinical Trial Seminar 2017 (2017.1)
- 齋藤嘉朗, “Similarity among East Asians on genetic factors and several examples on drug efficacy”, 第5回ソウル-北里シンポジウム (2017.2)
- 齋藤嘉朗, 「副作用バイオマーカーの臨床研究と適格性評価に向けた取組・課題」, 第2回AMED レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2017.2)
- 小川久美子, 「げっ歯類のがん原性試験の将来展望と課題－がん原性RNDとCAD－」, 第4回浜松毒性試験フォーラム (2016.10)
- 梅村隆志, 「食品香料の安全性評価に関する国際動向と日本の新しい指針」, 第14回食品安全フォーラム (2016.11)
- 高須伸二, 「栄養成分及び加工助剤の安全性評価に関する指針案」, 第14回食品安全フォーラム (2016.11)
- 森田健, 「GHSによる化学物質のハザード分類と行政への適用」, 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 (2016.4)
- 小島肇, 「皮膚毒性評価に関する最近の話題, 評価方法」, 第17回日本毒性学会生涯教育講習会テキスト (2016.7)
- 小島肇, 「代替法試験の基礎から最新知見まで」, マツモト交商 安全性試験セミナー (2016.7)
- 小島肇, 「動物実験代替法の国内外の動向」, 皮膚基礎研究クラスターフォーラム第11回教育セミナー (2016.7)
- 小島肇, 「医薬品食品領域での動物愛護管理法の現在と未来」, NPO法人動物実験関係者連絡協議会 第5回シンポジウム 「動物愛護管理法」の過去・現在・未来 (2016.12)
- 小島肇, 「動物実験代替法の現状と展望」, バイオインダストリー協会 (2017.1)
- 山田隆志, 「OECD IATA ケーススタディプロジェクトの概要」, 日本化学工業協会 化学品管理のためのQSAR /in silico セミナー (2017.1)